

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:植村

会議名: 玉津学区まるごと活性化食の地産地消プロジェクト 第4回会議

日時: 平成30年11月9日(金)午後7時30分から午後9時まで

場所: 玉津会館 会議室1

出席者: 委員11名+会館2名

使用資料: 次第、野菜直売所の運営について、次年度以降の活動についてワークシート、まる活冊子コピー、市食育クラブチラシ

議題

- (1)野菜直売の運営について
- (2)次年度以降の活動について
- (3)料理教室について

会議要旨

内容

(1)野菜直売所の運営について

- ・先に老人憩いの家の解体について話をしてほしい。

⇒(事務局)現段階で決まっているのは、12月に施設の周りに人が近づかないよう2mほどの高さの囲いをする。予定ではH31.4月～7月に解体。解体後はひとまず駐車場として活用。解体作業に入ると敷地自体が立ち入り禁止区域となるので、その間は直売所を休止せざるをえない。12月に囲いがされてから解体までの間の5回の開催については、自転車置き場等既存施設を活用しながら実施できるよう原課側と調整しているところ。

- ・本年度残りの5回については継続して実施することとする。次年度については解体に関する詳細が決まり次第都度検討していく。

(2)「野菜直売所の運営について」ワークシート

①野菜の値段について

- ・ワンコインでよいのでは、生産者に決めてきてもらう場合も統一すると計算等しやすい。

- ・種類によって統一してはどうか。生産者側が高い値で出してくる場合もある。

- ・ワンコイン統一でしてしまうと相場より高くなってしまう場合がある。難しいのでは

⇒いったんは現行のままの値付けをする。

②野菜の供給量の変動について

- ・1年間のサイクルを把握してみて、足りないものを作ってもらうようお願いできないか⇔そこまでは大変

- ・生産者はみんな顔のわかる人たち、なんの野菜を作っておられるか会話の中で聞いていく。

③売れ残りの処理について

- ・販売側が「出してくれてありがとう」ではなく、生産者の方に「売ってほしい」と思われるよう取り組んでいきたい。

- ・作り手も高齢化していく。次の世代にお願いしていける努力を。

④開催時間について

- ・生産者によっては、決められた時間より早く来たり逆に遅く来たりする人がいる。必ず取りに来てもらう時間の周知を徹底したい。

⇒次年度開催時間は午前9時30分から11時30分とし、取りに来てもらう時間は正午から12時30分までの間とする。

⑤袋詰めについて

- ・生産者に袋詰めも売り場も手伝ってもらうようお願いし、その間に会話しながら値段等決めたらどうか

- ・袋詰めしてもってきてもらったかどうか(金額も含め)

- ・袋詰めや販売等の手間がいやという人もいる。人を見てお願いできそうであれば手伝ってもらえる人を増やす。

⑥出勤頻度について

- ・月2回の出勤はやはりくるしいので当番制にしてほしい。

議事要旨

内容

・当番制にすると、いけない時に代わりの人をお願いしないといけない。それならば全員でることにしておいて、いけない時は休むという方が自由でよい。

・端境期の野菜が少ない時は開催日を減らす等来年は考えていく。

⑦その他の意見。

・生産者側からすると、販売側の上記のような意見は身勝手に感じる部分がある。もとは余ったものがあったいなから売るとというのが発端だったはず。それは生産者の思いがあったからできたのか、発端の部分を再確認すべき。継続していこうと思うと、生産側と販売側のリンクが必要。

(3)料理教室について

・昨年は20人程度の参加。日程は参加者募集等の期間も含め平成31年2月3日(日)9:00から。

・対象は市民とする。

・かぶらはどれくらい必要か

⇒当日料理用に10kg、1月に漬物にするため10kgの合計20kgが必要

・先日納豆豆を脱穀した。選別をお手伝いいただきたい。

⇒次回17日の直売所で選別作業をする。また、当日来れない方は持って帰って家でしてもらう。

決まったこと

- ・矢島かぶら料理教室を平成31年2月3日(日)午前9時から実施する。
- ・次回直売所の際、脱穀した納豆豆の選別をする。

次回開催

平成30年11月17日(土) 直売所